

Headline

- ◆ ごあいさつ ~ よりよいクリニカル・クラークシップを目指して ~
- ◆ CATO委員会（医学系・歯学系共通）のご紹介
- ◆ ホームページへ掲載 役員挨拶のご紹介
- ◆ 職員研修会のご報告
- ◆ 医学系・歯学系 全国規模の説明会・講習会のご報告（2025年6月～10月）
- ◆ 理事会報告(令和7年5月26日開催) 及び 総会報告(令和7年6月27日開催)
- ◆ 賛助会員制度のご案内

- ◆ ごあいさつ ~ よりよいクリニカル・クラークシップを目指して ~



公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構 副理事長 斎藤 宣彦

医師法の一部改正により、わが国でもようやく医学生の臨床実習がクリニカル・クラークシップ（＝医学生が医療チームの一員となって実際の診療に携わること）になりました。Osler 博士の「臨床医学を学ぶには、教室における 3 時間の講義よりもベッサイドの 15 分を」の言から 1 世紀、実習開始前の共用試験に合格した医学生には、医行為をすることが許される時代になったのです。このことは、わが国の医学教育年表上、玄白らの「解体新書」か、洪庵の適塾開学にも匹敵する大改革です。

クリニカル・クラークシップでは、患者さんから詳しく話を伺い、丁寧に身体診察をし、順序だてた検査計画を立て、それらの結果から総合的に病態を解析し、指導医とディスカッションして治療計画を立て、限られた範囲での治療も実施することになるでしょう。そこでは医師だけでなく、医療チームのメンバーがそれぞれの専門職の立場からアドバイスします。そのような実習で臨床医の基礎が備わっていくはずです。

充実したクリニカル・クラークシップのために各大学で整備すべきは、実習の場と人です。

Common disease を経験するには、学生を大学外の地域医療機関に出て臨床現場を経験させなければなりませんし、難しい病気や最新の高度医療を経験するには大学病院における実習が欠かせません。クリニカル・クラークシップの指導のための人材は大学で養成する必要がありますが、同時に大学外の地域医療機関の医師も指導医となって学生実習に携わることも推進すべきです。指導医が直接、学生に常に密着して指導しなければならないケースもあれば、研修医が学生を指導する様子を指導医が監修することで済む場合も多いでしょう。大学がそのシステムを構築することで地域医療機関との関係も深まります。

医学生を優秀な医師に育てるのは、すべての医師に課せられた責務です。学生時代から、その意識を醸成することも当機構の務めと心得ています。

◆CATO 委員会（医学系・歯学系共通）のご紹介

試験信頼性妥当性検討委員会について

学術顧問 仁田 善雄

CATO では全国規模の 6 つの試験を実施しており、精度の高い良質な試験問題を提供するために、多くの委員会活動がなされています。これらの内本委員会は試験の信頼性妥当性を検証する役割を担っています。本委員会のメンバーはテスト理論の専門家、各種の委員会の事後評価関連の委員長等から構成しています。その前身は 2002 年に開催された技法研究会で、項目反応理論を用いた能力評価システムの基礎を作りました。1 年間の活動：①信頼性・妥当性の検証作業を 6~7 回の会議、②会員への説明責任としての共用試験の統計手法を含む試験の特性についての講演会（ビデオ配信）。

今年も 11 月中旬から 1 か月間 CBT 関連の講演会のビデオ配信、12 月中旬から OSCE/PX 関連の講演会の配信を予定しています。このように、より精度の高い、妥当性のある試験に向けて、他の委員会とは趣が異なる活動を行っております。

共用試験制度・システム開発委員会 新体制で活動を再開

委員長 長島 正

「共用試験制度・システム開発委員会」は、2024 年 4 月から新しい委員体制のもとで活動を再開しました。この委員会には、医学・歯学それぞれの分野で共用試験（CBT、OSCE、PX など）を担当する各委員会の委員や、機構内の各部署から選出されたメンバーが参加しています。目的は、医学生・歯学生向け共用試験の運用を支えるさまざまなシステムを総合的に見直し、機能面だけでなく費用面で、より効率的で合理的な仕組みを整えることです。

具体的には、試験運営の効率化や成績処理の迅速化を目指したデータベースシステム、各大学で行われる OSCE をサポートする評価入力システムなどの開発に取り組んでいます。これらのシステムを通じて、大学の現場における試験実施業務の負担を軽減することを最優先に活動しています。

また財務面では、今後 5 年間を見据えたシステム投資計画を策定し、計画的かつ効率的な資金運用を進めています。これにより、共用試験の質と信頼性を一層高めるための基盤づくりを進めています。

今後も、全国の医学部・歯学部が抱えるさまざまな運営事情を踏まえ、現場の声をできる限り反映させながら、セキュリティや個人情報保護、アクセシビリティにも十分配慮し、持続可能で拡張性の高い共通基盤の構築を目指してまいります。

◆ ホームページへ掲載 役員挨拶のご紹介

役員挨拶を更新しました。

<https://www.cato.or.jp/aboutorg/message/officer/index.html>

◆ 職員研修会のご報告

・6月2日（火）

職員研修会が行われ、文部科学省高等教育局私学部長浅野敦行氏による「大学の自主的な質保証システムの構築を夢見て」と題する講演があり、CATO 設立に至った経緯や当時、御苦労された話などを聞かせていただき、職員にとって大変貴重な機会となりました。

・6月19日（木）

職員研修会を実施し、講師に日本歯科大学生命歯学部の大澤銀子先生を迎えて、コーチングとティーチング、フィードバックスキルなどについてお話をいただきました。

◆ 医学系・歯学系 全国規模の説明会・講習会のご報告（2025年6月～10月）

医学系

・6月2日（月）及び 7月8日（火）

医学生共用試験 CBT 統括実施責任者等認定講習会が、同じプログラムで 2 回実施され、全国 82 大学から第 1 日目は 206 人、第 2 日目は 173 人が受講されました。

CBT 統括実施責任者とは、「公的試験」である共用試験 CBT の各大学における実施責任者になるための資格です。

・6月22日（日）

医学生共用試験臨床実習後 OSCE 認定評価者講習会を東京慈恵会医科大学の大会議室を拝借して開催しました。受講者は関東地方の大学や臨床研修病院のほか、山梨大学や新潟大学から、合計 60 人が参加されました。

会場を拝借させていただいた東京慈恵会医科大学に御礼を申し上げます。

・6月26日（木）

医学生共用試験 OSCE 標準模擬患者養成担当者認定講習会をオンラインで実施しました。

・7月4日（金）

医学生共用試験 OSCE 標準模擬患者オンライン新規養成講習会を実施しました。

・7月20日（日）

CATO 主催の医学生共用試験臨床実習後 OSCE 評価者認定講習会を、石原慎理事のご紹介により名古屋市の JA あいちビルの大会議室を拝借して実施しました。講習会には中京・北陸地区大学や研修病院の先生方を中心に全国から合計 73 名の先生方が参加されました。CATO からは、斎藤副理事長、石原理事（認定評価者小委員会委員長）、伊藤 OSCE 実施管理委員長をはじめ、認定評価者小委員会委員、全国及び地区ファシリテーター計 13 人体制で実施しました。

・7月22日（火）及び 7月24日（木）

医学生共用試験 CBT 機構派遣監督者認定講習会が CATO 内会議室で行われました。第 1 日目は 45 人、第 2 日目は 24 人が受講されました。

・8月2日（土）

医学生共用試験 OSCE 標準模擬患者新規養成認定試験・認定標準模擬患者認定試験を大阪公立大学を拝借して実施しました。全国 12 大学及び大学外模擬患者団体所属の受験者 33 名と新規模擬患者予定者 8 名の計 41 名が参加しました。

なお、大阪公立大学の事務職員の方に応援をいただきました。

・8月6日（水）

医学生共用試験 OSCE 機構派遣監督者認定のための講習会をオンラインで開催したところ、北海道から九州まで 24 大学からの参加がありました。医学生共用試験 OSCE 実施管理委員会の早稲田勝久、稻垣剛士両副委員長のレクチャーと、5 名の同委員会委員がファシリテータとなつたグループディスカッションを含む 3 時間半の講習会を実施しました。

・8月8日（金）

医学生共用試験 CBT 機構派遣監督者認定講習会を大阪医科薬科大学の会場を拝借して開催したところ、東北から九州まで 24 大学から 42 名の参加があり、CBT 実施管理委員 6 名のレクチャーを中心に 3 時間の講習会を実施しました。講習会会場をご提供いただいた大阪医科薬科大学に厚く御礼を申し上げます。

・9月21日（日）

CATO 主催の今年度第 1 回目の医学生共用試験臨床実習前 OSCE の追再試験を、藤田医科大学の OSCE 施設を拝借して実施しました。6 大学から 31 名の受験者があり、各大学からの外部評価者と CATO 側の委員により、滞りなく行いました。素晴らしい施設を拝借させていただいた藤田医科大学に御礼を申し上げます。

・9月28日（火）

医学生共用試験臨床実習後 OSCE 評価者認定講習会を郡山商工会議所 6 階大ホールにて開催したところ、東北・北海道地区の大学などから計 72 名の参加者があり、CATO の担当委員 14 名の支援により実施しました。

・10月19日（日）

CATO 主催の今年度第 2 回目の医学生共用試験臨床実習前 OSCE の追再試験を、東京慈恵会医科大学大学 1 号館の施設を拝借して実施しました。受験者は全国から 52 名で、運営委員、課題責任者、機構派遣監督者、評価者等、50 名が集結し、厳正な OSCE を実施しました。拝借させていただいた東京慈恵会医科大学に感謝します。

・10月25日（土）～26日（日）及び 11月1日（土）

医学生共用試験臨床実施前 OSCE の認定評価者養成のための講習会を兵庫医科大学の施設を拝借して実施したところ、3 日間で、各地から合計 530 名の先生方が受講されました。素晴らしい施設を拝借させていただいた兵庫医科大学に深謝します。

歯学系

・5月 26日(月)～6月 6日(金)

歯学生共用試験 CBT 実施責任者認定講習会を e-learning で実施しました。実施責任者：42 名、実施責任者以外：26 名の合計 68 名が受講しました。

・6月 6日(金)

歯学生共用試験臨床実習前 OSCE 標準模擬患者認定講習会を長崎大学歯学部で実施しました。4 名が受講し、全員が一次試験を合格しました。

・6月 15日(日)

歯学生共用試験臨床実習前 OSCE 標準模擬患者認定講習会を九州大学歯学部で実施しました。4 名が受講し、全員が一次試験を合格しました。

・6月 17日(火)

歯学生共用試験 PX CSX 評価者認定講習会を CATO 6 階会議室で実施しました。35 名が受講しました。

・6月 18日(水)

歯学生共用試験 PX CPX 評価者認定講習会を CATO 6 階会議室で実施しました。35 名が受講しました。

・7月 29日(火)

歯学生共用試験臨床実習前 OSCE 標準模擬患者認定講習会を東京歯科大学で実施しました。4 名が受講し、全員が一次試験を合格しました。

・8月 31日(日)

歯学生共用試験臨床実習前 OSCE 標準模擬患者認定講習会を昭和医科大学歯学部で実施しました。4 名が受講し、全員が一次試験を合格しました。

・9月 13日(土)

歯学生共用試験臨床実習前 OSCE 評価者認定講習会を奥羽大学歯学部で実施しました。91 名受講内訳（医療面接・検査：13 名、保存：23 名、補綴：25 名、口腔外科：30 名）。なお、奥羽大学の教職員のかた 2 名に応援を頂きました。

・9月 28日(日)

歯学生共用試験臨床実習前 OSCE 標準模擬患者認定講習会を愛知学院大学歯学部で実施しました。4 名が受講し、全員が一次試験を合格しました。

・10月 4日(土)

歯学生共用試験臨床実習前 OSCE 評価者認定講習会を北海道大学歯学部で実施しました。44 名受講内訳（医療面接・検査：8 名、保存：10 名、補綴 19 名、口腔外科：7 名）。なお、北海道大学の教職員のかた 2 名に応援を頂きました。

・10月 14日(火)～10月 24日(金)

歯学生共用試験 CBT 実施責任者認定講習会を e-learning で実施しました。実施責任者：32 名、実施責任者以外：22 名の合計 54 名が受講しました。

◆理事会報告(令和7年5月26日開催)及び 総会報告(令和7年6月27日開催)

○理事会報告（令和7年5月26日開催）

令和7年5月26日（月）CATO 6F会議室において第34回定例理事会が開催されました。審議事項の内容等についてご報告いたします。

第1号議案 監事候補者について

次期の監事候補者として、現監事の竹田幸博氏、鈴木裕子氏が選考され、第12回定時総会に諮ることとされました。

第2号議案 令和6年度事業報告（案）について

令和6年度の事業報告（CATOの公益目的事業の実施状況や成果をまとめた報告書）が承認されました。今回の報告書では、特に財務改善やガバナンス改革の実施状況について詳細に報告がなされました。

第3号議案 令和6年度収支決算（案）について

令和6年度の決算が、貸借対照表等の財務諸表や説明資料に基づき詳細に説明され、監事から適正であるとの監査結果報告があった後、理事会での承認が得られました。理事会の中では、今後のシステム開発や余剰金の内容について意見交換がなされました。

第4号議案 令和6年度活動報告年報（案）について

令和6年度の活動報告年報（各委員会等の活動内容をまとめた報告書）が承認されました。

第5号議案 第12回定時総会審議事項等（案）について

令和7年6月27日開催の第12回定時総会における審議事項や出欠票・委任状・議決権行使書について、承認されました。

○総会報告（令和7年6月27日開催）

CATO第12回定時総会が、御茶ノ水ソラシティを会場に開催されました。審議事項の内容等は以下のとおりです。

第1号議案 監事2名の選任について

竹田幸博氏、鈴木裕子氏が監事に選任されました。任期は、令和11年6月の定時総会終結の時までとなります。

第2号議案 令和6年度収支決算（案）について

令和6年度の決算が、貸借対照表等の財務諸表や説明資料に基づき詳細に説明され、監事から適正であるとの監査結果報告があった後、総会での承認が得られました。総会の中では、今後の会費の見込み等について意見交換がなされました。



◆ 賛助会員制度のご案内

CATOは、共用試験の実施とその質を更に高める活動を通じて、優れた医師・歯科医師を養成することにより、国民の健康と福祉の向上に貢献しています。この機構の活動に社会一般の皆様から深いご理解とご支援をいただくため、賛助会員制度を設け募集を行うこととしました。

➤ 入会のお手続き

CATOホームページの入会申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、下記のお問い合わせ先までメール、FAX又は郵送のいずれかでお送りください。

➤ 年会費

個人： 1口 10,000円（年額）

団体： 1口 100,000円（年額）

入会決定後に請求書をお送りいたします。

➤ 特典等

CATOのホームページにお名前を掲載し、優れた医師・歯科医師の養成にお力添えいただいていることを公表させていただきます。また、当法人は、所得税法および法人税法上の「特定公益増進法人」です。賛助会費については寄附金として、個人・法人それぞれに、税制上の優遇措置が適用されます。

➤ お問い合わせ先

CATO（公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構）企画部

〒113-0034 東京都文京区湯島1-9-15 御茶ノ水 HYビル7F

E-mail: kikaku@cato.or.jp

【編 集】

CATO事務局企画部

【発 行】

令和7年1月

◆ ご意見・ご要望に関して

このニュースレターでご意見やお気づきの点などございましたら、お聞かせください。

CATO事務局企画部 : kikaku@cato.or.jp